

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【公開番号】特開 2018-171358 (P2018-171358A)

【公開日】平成 30 年 11 月 8 日 (2018.11.8)

【年通号数】公開・登録公報 2018-043

【出願番号】特願 2017-72771 (P2017-72771)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 14 日 (2020.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、

その第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付与手段と、

遊技球が入球可能に構成され、前記第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、

その第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 1 の特典よりも有利度合いが低い第 2 の特典を付与する第 2 特典付与手段と、

遊技盤における特定領域へと到達した遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となる第 1 位置と、その第 1 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 2 位置と、に可変可能に構成された第 1 可変手段と、

前記特定領域へと到達した遊技球が前記第 2 入球手段に入球可能となる第 3 位置と、その第 3 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 4 位置と、に可変可能に構成された第 2 可変手段と、

判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、

その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、前記第 1 可変手段が前記第 2 位置から前記第 1 位置へと第 1 期間可変される第 1 可変遊技を実行する第 1 可変遊技実行手段と、

前記判別手段の判別とは無関係に成立する予め定められた第 2 条件が成立したことに基づいて、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置から前記第 3 位置へと第 2 期間可変される第 2 可変遊技を実行する第 2 可変遊技実行手段と、

前記第 1 可変手段が前記第 2 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球が入球可能な第 3 入球手段と、

その第 3 入球手段へと入球した遊技球を遊技機の外部へと排出する排出手段と、を備え

、

前記第 1 可変手段が前記第 1 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球は、その後前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段と前記第 3 入球手段とのいずれにも入球し得るように構成されているものであり、

前記第 1 可変手段が前記第 1 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球を、前記第 1 入球手段または前記第 2 入球手段に入球可能な所定領域に所定期間維持可能な手段を有していることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技球を発射可能な発射手段を備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、その第 1 入球手段へと遊技球が入球したに基づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付与手段と、遊技球が入球可能に構成され、前記第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、その第 2 入球手段へと遊技球が入球したに基づいて前記第 1 の特典よりも有利度合いが低い第 2 の特典を付与する第 2 特典付与手段と、遊技盤における特定領域へと到達した遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となる第 1 位置と、その第 1 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 2 位置と、に可変可能に構成された第 1 可変手段と、前記特定領域へと到達した遊技球が前記第 2 入球手段に入球可能となる第 3 位置と、その第 3 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 4 位置と、に可変可能に構成された第 2 可変手段と、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、前記第 1 可変手段が前記第 2 位置から前記第 1 位置へと第 1 期間可変される第 1 可変遊技を実行する第 1 可変遊技実行手段と、前記判別手段の判別とは無関係に成立する予め定められた第 2 条件が成立したに基づいて、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置から前記第 3 位置へと第 2 期間可変される第 2 可変遊技を実行する第 2 可変遊技実行手段と、前記第 1 可変手段が前記第 2 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球が入球可能な第 3 入球手段と、その第 3 入球手段へと入球した遊技球を遊技機の外部へと排出する排出手段と、を備え、前記第 1 可変手段が前記第 1 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球は、その後前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段と前記第 3 入球手段とのいずれにも入球し得るように構成されているものであり、前記第 1 可変手段が前記第 1 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球を、前記第 1 入球手段または前記第 2 入球手段に入球可能な所定領域に所定期間維持可能な手段を有している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 2 記載の遊技機は、請求項 1 記載の遊技機において、遊技球を発射可能な発射手段を備える。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1】

本発明の遊技機によれば、遊技球が入球可能な第 1 入球手段と、その第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付与手段と、遊技球が入球可能に構成され、前記第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、その第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 1 の特典よりも有利度合いが低い第 2 の特典を付与する第 2 特典付与手段と、遊技盤における特定領域へと到達した遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となる第 1 位置と、その第 1 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 2 位置と、に可変可能に構成された第 1 可変手段と、前記特定領域へと到達した遊技球が前記第 2 入球手段に入球可能となる第 3 位置と、その第 3 位置よりも前記特定領域へと到達した遊技球が入球困難となる第 4 位置と、に可変可能に構成された第 2 可変手段と、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が予め定められた特定の判別結果となったことに基づいて、前記第 1 可変手段が前記第 2 位置から前記第 1 位置へと第 1 期間可変される第 1 可変遊技を実行する第 1 可変遊技実行手段と、前記判別手段の判別とは無関係に成立する予め定められた第 2 条件が成立したことに基づいて、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置から前記第 3 位置へと第 2 期間可変される第 2 可変遊技を実行する第 2 可変遊技実行手段と、前記第 1 可変手段が前記第 2 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 4 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球が入球可能な第 3 入球手段と、その第 3 入球手段へと入球した遊技球を遊技機の外部へと排出する排出手段と、を備え、前記第 1 可変手段が前記第 1 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球は、その後前記第 1 入球手段と前記第 2 入球手段と前記第 3 入球手段とのいずれにも入球し得るように構成されているものであり、前記第 1 可変手段が前記第 1 位置に可変し、前記第 2 可変手段が前記第 3 位置に可変した状態で前記特定領域へと到達した遊技球を、前記第 1 入球手段または前記第 2 入球手段に入球可能な所定領域に所定期間維持可能な手段を有している。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 1 8 3 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 1 8 3 5】

遊技機 A 1 から A 8、B 1 から B 8、C 1 から C 8、D 1 から D 8、E 1 から E 8、F 1 から F 8、G 1 から G 8、H 1 から H 8、I 1 から I 8、J 1 から J 1 3、K 1 から K 8、L 1 から L 7、M 1 から M 9、N 1 から N 8、O 1 から O 7、P 1 から P 9、Q 1 から Q 8、R 1 から R 8、S 1 から S 8、T 1 から T 8 のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 Z 3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

< その他 >

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて行われる抽選の結

果が当たりだった場合に、当たり状態へと移行するものがある。かかる遊技機の中には、ラウンド数の異なる複数種類の当たり種別が設けられているものがあり、獲得できる遊技価値を異ならせることにより、当たり中の興趣向上を図っているものがある（例えば、特許文献１：特許第２５１４４１７号公報）。

しかしながら、更なる興趣の向上が求められている。

本技術的思想は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的としている。

< 手段 >

この目的を達成するために技術的思想１の遊技機は、遊技球を発射可能な発射手段と、その発射手段により発射された遊技球が到達可能な特定領域と、その特定領域に到達した遊技球が入球可能な位置に設けられている第１入球手段と、第２入球手段と、前記第１入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第１の特典を付与する第１特典付与手段と、前記第２入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第１の特典とは異なる第２の特典を付与する第２特典付与手段と、前記特定領域に到達した遊技球が前記第１入球手段に入球可能となり、且つ、前記第２入球手段に入球困難となる第１位置と、前記第１入球手段に入球困難となり、且つ、前記第２入球手段に入球可能となる第２位置と、に少なくとも可変可能な可変手段と、その可変手段を、第１条件の成立に基づいて前記第１位置へと可変させ、前記第１条件とは異なる第２条件の成立に基づいて前記第２位置へと可変させる可変制御手段と、を備える。

技術的思想２の遊技機は、技術的思想１記載の遊技機において、前記第１入球手段と、前記第２入球手段とは、盤面上において所定距離を離間させて配置されているものであり、前記可変手段は、前記第１入球手段と、前記第２入球手段との間に配置されているものである。

技術的思想３の遊技機は、技術的思想１又は２に記載の遊技機において、前記可変手段は、前記第１位置と、前記第２位置と、前記第１入球手段および前記第２入球手段のいずれにも入球困難となる第３位置と、に少なくとも可変可能に構成されているものであり、前記可変制御手段は、前記可変手段を、前記第１条件の成立に基づいて前記第３位置から前記第１位置へと可変させ、前記第２条件の成立に基づいて前記第３位置から前記第２位置へと可変させるものである。

技術的思想４の遊技機は、技術的思想３記載の遊技機において、前記第１入球手段は、前記特定領域に対して第１の方向に設けられているものであり、前記第２入球手段は、前記特定領域に対して前記第１の方向とは異なる第２の方向に設けられているものであり、前記第１位置は、前記特定領域に到達した遊技球の進行方向が前記第１の方向になり易くなる位置であり、前記第２位置は、前記特定領域に到達した遊技球の進行方向が前記第２の方向になり易くなる位置であり、前記第３位置は、前記特定領域に到達した遊技球の進行方向が前記第１の方向および前記第２の方向のいずれとも異なる方向になり易くなる位置である。

技術的思想５の遊技機は、技術的思想１から４のいずれかに記載の遊技機において、前記可変手段は、盤面上で出没動作が可能な第１可変部材と、その第１可変部材とは異なる第２可変部材とで構成されているものであり、前記第１位置は、前記第１可変部材が盤面に対して正面視手前側に突出し、且つ、前記第２可変部材が盤面に埋没した配置となるものであり、前記第２位置は、前記第１可変部材が盤面に埋没し、且つ、前記第２可変部材が盤面に対して正面視手前側に突出した配置となるものであり、前記第１可変部材は、盤面に対して突出することで前記特定領域に到達した遊技球を前記第１入球手段へと誘導可能な流路を構成するものであり、前記第２可変部材は、盤面に対して突出することで前記特定領域に到達した遊技球を前記第２入球手段へと誘導可能な流路を構成するものである。

。

< 効果 >

技術的思想１記載の遊技機によれば、遊技球を発射可能な発射手段と、その発射手段により発射された遊技球が到達可能な特定領域と、その特定領域に到達した遊技球が入球可

能な位置に設けられている第 1 入球手段と、第 2 入球手段と、前記第 1 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて第 1 の特典を付与する第 1 特典付与手段と、前記第 2 入球手段へと遊技球が入球したことに基づいて前記第 1 の特典とは異なる第 2 の特典を付与する第 2 特典付与手段と、前記特定領域に到達した遊技球が前記第 1 入球手段に入球可能となり、且つ、前記第 2 入球手段に入球困難となる第 1 位置と、前記第 1 入球手段に入球困難となり、且つ、前記第 2 入球手段に入球可能となる第 2 位置と、に少なくとも可変可能な可変手段と、その可変手段を、第 1 条件の成立に基づいて前記第 1 位置へと可変させ、前記第 1 条件とは異なる第 2 条件の成立に基づいて前記第 2 位置へと可変させる可変制御手段と、を備える。

これにより、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

技術的思想 2 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記第 1 入球手段と、前記第 2 入球手段とは、盤面上において所定距離を離間させて配置されているものであり、前記可変手段は、前記第 1 入球手段と、前記第 2 入球手段との間に配置されているものである。

これにより、第 1 入球手段と第 2 入球手段とに対して別々に可変手段を設けた場合に比較して構成を簡素化することができるという効果がある。

技術的思想 3 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 又は 2 に記載の遊技機の奏する効果に加え、前記可変手段は、前記第 1 位置と、前記第 2 位置と、前記第 1 入球手段および前記第 2 入球手段のいずれにも入球困難となる第 3 位置と、に少なくとも可変可能に構成されているものであり、前記可変制御手段は、前記可変手段を、前記第 1 条件の成立に基づいて前記第 3 位置から前記第 1 位置へと可変させ、前記第 2 条件の成立に基づいて前記第 3 位置から前記第 2 位置へと可変させるものである。

これにより、第 1 条件も第 2 条件も成立していない状態では、第 1 入球手段へも第 2 入球手段へも入球困難になるので、第 1 条件、または第 2 条件のいずれかが成立することを期待して遊技を行わせることができるという効果がある。

技術的思想 4 記載の遊技機によれば、技術的思想 3 記載の遊技機の奏する効果に加え、前記第 1 入球手段は、前記特定領域に対して第 1 の方向に設けられているものであり、前記第 2 入球手段は、前記特定領域に対して前記第 1 の方向とは異なる第 2 の方向に設けられているものであり、前記第 1 位置は、前記特定領域に到達した遊技球の進行方向が前記第 1 の方向になり易くなる位置であり、前記第 2 位置は、前記特定領域に到達した遊技球の進行方向が前記第 2 の方向になり易くなる位置であり、前記第 3 位置は、前記特定領域に到達した遊技球の進行方向が前記第 1 の方向および前記第 2 の方向のいずれとも異なる方向になり易くなる位置である。

これにより、第 1 の方向や第 2 の方向は、第 1 条件又は第 2 条件が成立していない状態で特定領域に到達した遊技球が進行する可能性が低くなるので、特定領域から第 1 入球手段までの間の構成や、特定領域から第 2 入球手段までの間の構成を必要最低限にすることができる。よって、構成をコンパクトにすることができるという効果がある。

技術的思想 5 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 から 4 のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、前記可変手段は、盤面上で出沒動作が可能な第 1 可変部材と、その第 1 可変部材とは異なる第 2 可変部材とで構成されているものであり、前記第 1 位置は、前記第 1 可変部材が盤面に対して正面視手前側に突出し、且つ、前記第 2 可変部材が盤面に埋没した配置となるものであり、前記第 2 位置は、前記第 1 可変部材が盤面に埋没し、且つ、前記第 2 可変部材が盤面に対して正面視手前側に突出した配置となるものであり、前記第 1 可変部材は、盤面に対して突出することで前記特定領域に到達した遊技球を前記第 1 入球手段へと誘導可能な流路を構成するものであり、前記第 2 可変部材は、盤面に対して突出することで前記特定領域に到達した遊技球を前記第 2 入球手段へと誘導可能な流路を構成するものである。

これにより、突出している可変部材の種別によって入球可能となる入球手段を遊技者が容易に識別することができるという効果がある。

【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1 8 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1 8 3 6】

1 0	パチンコ機（遊技機）
<u>6 6</u>	<u>アウト口（第 1 2 実施形態における第 3 入球手段）</u>
1 1 1	払出制御装置（ <u>第 1 2 実施形態における第 1 特典付与手段、</u>
第 2 特典付与手段）	
<u>1 1 2</u>	<u>発射制御装置（第 1 2 実施形態における発射手段）</u>
<u>6 4 0 L</u>	<u>左第 2 入球口（第 1 2 実施形態における第 2 入球手段）</u>
<u>6 4 0 L a</u>	<u>電動役物（第 1 2 実施形態における第 2 可変手段）</u>
6 5 0 L a	左特定入賞口（第 1 入球手段、第 2 入球手段）
6 5 0 R a	右特定入賞口（ <u>第 1 2 実施形態における第 1 入球手段</u> ）
<u>6 5 0 R b</u>	<u>可変部材（第 1 2 実施形態における第 1 可変手段）</u>
<u>S 3 0 5</u>	<u>第 1 2 実施形態における判別手段</u>
<u>S 5 4 2</u>	<u>第 1 2 実施形態における第 2 可変遊技実行手段</u>
S 1 0 2 1	<u>第 1 2 実施形態における第 1 可変遊技実行手段</u>